



我が家の防災・大地震への備え (4)

◆避難場所・連絡方法の確認◆

大地震などの災害は、いつどこで遭遇するかわかりません。そんなとき、家族との連絡方法や落ち合い場所について予め家族で話し合しましょう (段取り八分)。

(1)連絡方法

- NTT 災害伝言ダイヤル (音声ガイダンスあり)

録音 (伝言を登録)

171-1-自分の電話番号 ⇒ 伝言を録音

再生 (伝言を聞く)

171-2-相手の電話番号 ⇒ 伝言を聞く

(電話番号は市外局番も含む)

- 携帯各社の災害用伝言板 (携帯やスマホで安否確認)



docomo (災害用伝言板、災害用音声お届けサービス)
au (災害用伝言板サービス)
softbank (災害用伝言板、災害用音声お届けサービス)

- 近くより遠くの親戚宅や友人宅

災害地域の電話は多くの人々が一齐に利用するため、非常に混雑し繋がりにくい状況になります。こんな時、災害地域より遠く離れた親戚宅や友人宅を連絡先に決めておくと、連絡が取れる可能性が高まります。

- 家族の情報をメモしておきましょう

名前、生年月日、血液型、緊急連絡先、通勤・通学経路 など

(2)避難所について

三田市では避難所を今年から次のように呼ぶことになり、それぞれの役割を明確にしました

名称	定義 (役割)	身近な場所
区・自治会避難所 (旧: 一時避難所)	災害時に危険を一時的に回避する場所、または安否確認をする場所で、区・自治会ごとで任意に決定した場所	各地区で定められた児童公園など ⇒ 自分の集合場所を自治会に確認しましょう
市指定避難所 (旧: 第一次避難所)	災害で自宅が被害を受けた、または受けるおそれのある市民が一定期間の避難生活をする避難所	富士小学校 富士中学校 市民センター
補助避難所 (旧: 第二次避難所)	大規模災害により、市指定避難所が受け入れ能力を超える場合や使用不能な場合に開設される避難所	市内の県立高校 (北摂三田高等学校)
福祉避難所 (旧: 同じ)	災害時に障がい者、要介護者などを一時的に受け入れる避難所	総合福祉保健センター
広域避難場所 (旧: 同じ)	災害が広域にわたって人命に著しく大きな被害を及ぼすと予測される場合、主に地震災害時の家屋などの延焼に備えて、市民の安全を確保するための大規模避難場所	深田公園

◆避難情報が発令されたら

種類	どうしたらいいの?	補足
避難準備	情報の収集や各自の持ち出し物の準備など 非難の準備 をしましょう。また、 避難支援者 は支援行動を開始する。	お年寄り、体の不自由な方など、 避難に時間を要する方は避難を開始する。
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況です。 指定避難所 か 屋内の安全な場所 へ避難する。	単独での避難は危険なので、 隣近所で声掛け合い、助け合って避難する。
避難指示	ただちに指定避難所 か 屋内の安全な場所 へ避難する。	避難する余裕がない時は、 命を守る最低限の行動をとってください。

***危険を感じたら、自主避難もできます。下記の災害対策本部に連絡してください。**

(3)緊急連絡先

三田市災害対策本部 (市役所)
TEL 563-1111
消防署 (火災・救急)
TEL 119



防災便りは、富士が丘ポータルサイトにも掲載しています。
(<http://sanda-fujioka.com/>) **富士が丘** で検索)

◆通信欄 今年の防災週間は、8月30日(火)~9月5日(月)です。防災週間に合わせて、ご自宅の災害への備え (備蓄品、非常持ち出し品、緊急連絡方法、ライフラインの途絶に備えた対応の確認など) を点検しましょう。

◆つぶやき◆ 災害に強い街は、普段から隣近所のつながりが強いと言われています。日常の何気ない挨拶やクリーンデーでのお付き合いなどでコミュニケーションをとっていることで、災害時の避難や救助が大変スムーズに運んだ例は多く見受けられます。小学校や中学校では「あいさつ運動」がすすめられています。子供さんから声を掛けられたら、せめて大きな声で返したいものです。(m.y)

